

卒業前「一生の思い出」

玉野高吹奏楽部3年生有志5人は2月23日、宇野港第1突場で開かれたポルタリングと音楽の祭典「瀬戸内JAM」に出演した。バンド「東京事変」のメンバー伊澤啓太郎（一葉）さん、倉敷市出身のクラボレーションし、3年間の集大成を披露した。

玉野高吹奏楽部有志

の集大成を披露した。

5人はオーブニングアクトとして潮風が吹くステージに登場。海や山といった玉野の美しい景色を表現しようと選んだ「ホール・ニューヨーク」の「銀河鉄道999」など4曲を演奏した。最後の「君の瞳に恋してる」で伊澤さんがキー

東京事変・伊澤さんと協演



瀬戸内JAMのステージで伊澤さん（左端）と協演した玉野高吹奏楽部3年生有志ら

ボードで加わり、息の合ったハーモニーで会場を盛り上げた。伊澤さんとの練習は本番前日の一度きり。新型コロナウイルス対策で集まることができない中、生徒たちはそれぞれの自宅で練習を重ねてきた。

ユーフォoniumの松成唯さん（18）は「伊澤さんが自分たちに合わせてくれて、演奏のレベルを引き上げてくれた」、クラリネットの新古朱里さん（18）は「校外活動ができていなかったのが楽しかった。一生の思い出になった」と感激していた。

伊澤さんは「制約のある学校生活を送っていたと思うので、ぜひ一緒にやりたかった。僕も生徒から元気をもらった」と話した。（内田貴大）